

「コロナ禍における取組状況と課題」



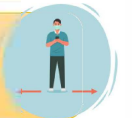
課題

・介護現場で働く介護福祉士及び介護職員たちは、継続する人材不足の中、さらにコロナ禍の中で様々な制約のある生活を続けている。(心身の疲労は限界を超えている)
・経験したことのない状況下で、利用者自身が不安を抱え、施設では自由に家族とも面会できない状況も続いている。(利用者の不安に寄り添う必要が高まっている)
・介護職員の質の向上を担保するための研修等の機会が少ない状況であったり、研修等に参加できない状況が続いている

1. 在宅サービス等の介護職員へもコロナワクチンの優先接種の対象に含めるよう要望



2. 介護福祉士及び介護職員等に対する様々な研修の在り方を検討
* オンライン研修の実施 * オンデマンドコンテンツの開発



3. 都道府県介護福祉士会では、この状況下でも一部地域で「認知症実践者研修等」を開催

